幡船の里より贈りもの 12/25

幡船の里スタッフによる施設慰問が行われ、西多久町で栽培された女山大根をはじめとする白菜や水菜、かぶ、春菊やみかんなどたくさんの新鮮な野菜や果物が市内のいこいの里、天寿荘、恵光園、しみず園に届けられました。地元で採れた農作物を食べて元気を出してもらおうとはじめた施設慰問は毎年年末に行われており、今回で11回目になります。施設に入所されている方々も新鮮な野菜や果物の差し入れに大変喜んでいる様子でした。

御火焚で新年を迎える 1/1

初詣で賑わう多久聖廟で、恒例となった御火焚が行われました。大きく立ち上る炎の前で新年の瞬間を迎えようと、多くの人が周りを囲み、盛大にカウントダウンが行われました。新年を迎えると、景気のいい音楽とともに獅子舞が皆を楽しませ、子獅子が炎の周りを回って、寒さでこわばった皆の顔を笑顔に変えていきました。集まった人たちは獅子舞で健康を、御火焚で五穀豊穣を祈り、聖廟に詣でて新しい年を迎えました。

健康を願い七草がゆ会 1/7

くど造り民家の「森家・川打家」で毎年恒例となった七草がゆ会が行われました。朝早くから地元の皆さんが集まり始め、すぐに満席に。市内外から120名ほどが訪れ、一年の健康を願って七草がゆを堪能しました。地元の女性たちが前日から準備した料理は、女山大根を使ったふろふき大根、しし肉を使った幡船汁など地元の産物を使った4品。薄暗く、くどの煙が充満した室内は昔にタイムスリップしたようでなんとも懐かしい感じがしていました。